旭川市立大有小学校

校長　玉　井　一　行

児童数　　２６４名

学級数　１５(５)学級

職員数　　３３名

ー　学習する組織として、組織全体の最適化を目指す学校経営　ー

「意欲的に学ぶかしこい子、他を思うなかのよい子、ねばり強いたくましい子」の育成を目指し、学び続ける学校として、チーム学校としての体制を創り、包括的な学校改善による学校経営に取り組んでいる。

特に、教職員が共創的な対話と熟議によりチーム学習に取り組む学習する組織を構築し、マネジメント機能を効果的に活かした組織全体の最適化を目指すなど、日常の授業改善に大きな成果を上げている。

ー　教職員の資質能力の向上に資する個別最適化を基盤とした組織的・戦略的な人材育成　ー

人材育成の視点からメンター研修や教育活動等を見直し、教職員がチームの一員として学習成果を実感できる「人材育成総合プログラム」や研修履歴が分かる「研修手帳」を独自に開発するなど、キャリアステージに応じた組織的・戦略的な人材育成体制の構築に取り組んでいる。

特に、近隣校と連携した日常の授業交流等による持続可能な授業改善推進体制が大きな成果を上げている。

ー　ビジョンの共有・協働・参画・熟議による「大有スタンダード」の整備と徹底　ー

そろえる指導を基盤として学習規律を統一するとともに、基本的な学習の流れを明記した「授業のキホン」などを作成し、全ての教員が同じ指導を行うことによって、児童が安心して学べる環境の整備・維持・向上に取り組んでいる。

特に、そろえる指導の目的やねらい等が一目で分かる「よくわかる大有小教職員版」を作成し、児童が安心して学ぶ環境づくりに大きな成果を上げている。

ー　子ども達が安心して学ぶ環境の維持・向上に資する信頼を紡ぐ教育活動の推進　ー

全ての学年・学級で、子どもが勉強に集中できる環境を整備することやかばんや学習用具の整理整頓をすること、相手の目を見て自分から挨拶することなど、学校全体で統一した取組を行っていることが実感できます。

また、学校と家庭が目的意識を共有しながら、子どもたちのことを話し合える関係ができていると思っています。保護者として、大有小学校で日々成長する子どもの未来が楽しみです。（保護者の声）